



今尾の子



令和5年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和5年10月30日

「節目・節目を大切に」



十月五日(木)六日(金)に五年生が「藤橋研修」に出かけました。山間部の天候が心配されましたが、ほぼ計画通りに研修を行うことができ、無事に帰校しました。研修では、学校でできていることが場所が変わってもいつもと同じようにできるかが試される研修でしたが、見事に身に付けている力は本物であることを証明できてくれました。



五年生は、四月から六年生の姿を見ながら今尾小学校を支え続けてくれています。そんなひたむきな姿が他学年の心に届き、より良い学校づくりに向かって進んでいるように感じています。第三タームに入ってから二週間が過ぎた時期ですが、今後も「誰もが気持ちよく学びに向かうことができる学校の様々な基盤づくり」に、全校で一丸となって励んでいきたいと考えております。早いもので、もう十一月。「実りの秋」です。秋といえば、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などと言います。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、とても過ごしやすく穏やかな気候なの

で、いろいろなことに集中できるといわれています。秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花するともいわれます。

本校でも実りある活動を

を推進すべく、十一月三日(金・祝)には、「えのきコンサート」を計画しています。音楽の時間や練習時間を生み出しながら、一生懸命に練習している様子が聞こえてきます。一瞬で消えていく音をみんなで奏するために、心をそろえて練習した成果を披露できることを楽しみにしています。



子どもたちは、今、成長のまっただ中です。様々な失敗や成功の体験を繰り返しながら思いやりの心や我慢の心、強い意志や責任感、謙虚さや命を尊重する心などを身に付けていきます。行事を節目とすることも多いですが、自分で節目だと意識した時間が節目となります。思いやりがあり、自分で打ち込むことが今尾の子どもたちです。十月を締めくくり、十一月に入るチャンスを、ぜひ成長の「節目」として、横風に吹かれても決して折れない、柔軟でしなやかな竹のように、まっすぐ成長していく姿を心から願っています。

「笑顔を大切に」

岐阜県モラロジー連絡協議会主催の「家族のきずな」エッセイ募集事業で学校賞を受賞した高野心海さん(六年)の作品が、十一月二十八日(火)に「ぎふチャラジオ」で紹介されます。家族が笑顔で触れ合う大切さが伝わるとても温かいエッセイです。海津市内の小学校に通う児童の作品も十一月十日(金)から十二月にかけて紹介されます。放送時刻は午前七時十五分からです。家族のありがたさについて再認識できる機会になると思いますので、是非、お聞きください。



「体調管理の再徹底を」



今年、秋から冬にかけて「コロナ」「インフルエンザ」の流行が心配されています。市内においても、学級閉鎖等の措置で、感染拡大を防いでいる学校もあります。どちらの感染症についても、手洗いやうがいといった基本的な予防対策は同じです。

今後も、より一層、感染予防の徹底をお願いいたします。また、感染を拡大させないために、体調等が普段と異なる場合には、無理をしないで自宅で休養してください。健康面につきましても、ご理解・ご協力をお願いいたします。
(高橋 崇敏)